四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成26年2月20日)

開催日及び場所		平成25年12月11日(水曜日) 四国森林管理局 1階会議室			
委員		坂本 伸廣 (税理士) 斎藤 章 (公認会計士) 西森やよい (弁護士)			
審議対象期間		平成25年 7月 1日～平成25年 9月30日			
審議対象案件		147件 うち、1者応札案件36件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件			
抽出案件		23件(抽出率16%) うち、1者応札案件 8件 (抽出率22%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率33%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		5件 うち、1者応札案件 1件	
		指 名 競 争	公募型指名競争		該当なし
			工事希望型競争		該当なし
			その他の指名競争		該当なし
			随意契約		該当なし
	業務	一般競争		3件 うち、1者応札案件 0件	
		指 名 競 争	公募型競争		該当なし
			簡易公募型競争		該当なし
			その他の指名競争		該当なし
		随 意 契 約	公募型プロポーザル		該当なし
			簡易公募型プロポーザル		該当なし
			標準型プロポーザル		該当なし
			その他の随意契約		該当なし
		物品・ 役務等	一般競争		10件 うち、1者応札案件 7件
			指名競争		該当なし
	随意契約(企画競争・公募)		1件 うち、1者応札案件 1件		
	随意契約(その他)		4件		
	(特記事項) なし				

	意見・質問	回答等
委員 ら の 意 見 ・ 質 問 そ れ に 対 す る 回 答 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札談合を防止するためにはどのような制度があるか。 ・ 退職者の再就職先を把握しているか。 ・ 採石製品購入で随意契約となっているのはどうしてか。 ・ 入札公告で、参加資格として求められている工事实績は森林管理局の工事实績か。 ・ 林道改良工事において総合評価の結果、入札金額が最も高い業者が落札しているが入札経緯はどうなっているか。 ・ 下刈作業で署によって ha 当たりの契約単価に差が生じているのはどうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札監視委員会、公正入札等調査委員会、農林水産省職員内部通報制度、発注者綱紀保持委員会等により談合防止を図っている。 ・ 退職者の再就職については、国家公務員法により管理職職員であった者等で届け出が必要な者は再就職先を把握している。ただし、再就職先を届け出る等の規程が適用されない退職者については把握していない。 ・ 競争入札に付したが応札者がいなかったことから、地元業者から見積書を徴し随意契約を締結した。 なお、採石製品を購入した森林管理署管内の業者には、入札参加資格を有するものがないため応札者がいなかったものと考えている。 ・ 森林管理局の工事实績だけでなく、県及び市町村の工事实績も含まれる。 ・ 当初は3者で入札を実施したが、入札額の上位2者が調査基準価格を下回ったので、低入札価格調査を実施したところ1者が調査を拒否したため、この者の入札を無効とし、残る2者で評価値を算出して落札者を決定したところ、結果的に入札額の最も高い業者が落札者となった。 ・ 予定価格は各署とも大きな差はないが、入札により競争が働き、契約単価に差が生じたものと考えている。
	委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし